

千葉県立新病院整備実施設計業務委託 簡易公募型プロポーザル（二次審査） 特定基準

- 1 委員の評価点の合計が最も高い提案者に優先交渉権を与え、その次に評価点が高い提案者を次点者とする。
- 2 委員の評価点の合計が最も高い提案者が複数あった場合は、以下の順に優先交渉権者を決定する。
 - (1) 「担当チームの対応」の評価点の合計が高い提案者
 - (2) 「業務に対する課題」課題（1）～（4）の評価点の合計が高い提案者
 - (3) （1）及び（2）においても決定しない場合は、委員会の議による。
- 3 次点者となる提案者が複数あった場合は、上記2を準用して決定する。
- 4 技術提案書の提出が1者のみであった場合は、技術提案書の内容を確認の上、問題がなければ審査を行い、委員会の議によりその者を選定することができる。

評価	評価係数	評価ランク
A	1.0	極めて良好・極めて高い
B	0.8	良好・高い
C	0.6	中位
D	0.4	やや不十分・やや低い
E	0.2	不十分・低い

評価項目		配点	参照様式	評価の視点	評価方法	
二次審査特定基準	担当チームの能力 (35点)	主任技術者（管理技術者）及び主任担当技術者（※）の同種業務実績（過去5年間）※総合（建築）の主担当	35	様式4-1 様式4-2	2次審査の評価点＝1次審査の「担当チームの能力」の評価点×1/2（小数点以下は四捨五入）	※事務局が左記により評価（採点）
	担当チームの対応 (65点)	業務の実施方針・体制	5	様式8	提示された業務の実施方針・体制の的確性・実現性等	技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリング等の内容により、欄外の評価ランクに応じた5段階の評価（A～E）を行う。 評価点＝各配点×評価係数
		業務の工程計画	5	様式9	提示された業務の工程計画の的確性・実現性等	
		課題（1） 工程管理における課題とこれに対する具体的な取組み	10	様式10	課題に対する提案の的確性・実現性等	
		課題（2） コスト管理における課題とこれに対する具体的な取組み	10			
		課題（3） E C I方式を踏まえた業務における課題とこれに対する具体的な取組み	20			
		課題（4） その他実施設計業務における具体的な取組みの提案	10			
		プレゼンテーション・ヒアリング	5	－	プレゼンテーション・ヒアリングの説明のわかりやすさ、取組み意欲等	
評価点合計		100				